

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和2年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課（内線593）
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体（報告：代表企業 ㈱サンワックス）
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（3期2年目 ※通算12年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	4	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	4	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	4	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	4	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取扱いが適正に行われたか	4	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2		
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	4	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	4	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	85 96	73 96

総括	指定管理者の自己評価	R2年度、代表団体(㈱サンワックスとしては、再々指定後3期目・2年目(通算12年目)の運営となりました。共同事業体の強みを活かし、㈱サンワックスは施設運営全般、大会・イベント等の企画開催を担い、構成企業の都市管理サービス㈱は維持管理全般を担い、施設修繕等の対応も臨機にを行い、利用環境の整備に努めました。 前年度末からの新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、4月に発出された緊急事態宣言に伴い、5月末まで約2ヶ月間の休場となりました。大変困難な状況のなか、市と協議の上で事業計画の見直しをしながら運営の安定化に努め、R2年度の入場者数は、前年度34,305人に対して28,164人(-6,141人減)、入場料収入は、前年度40,275千円に対し、32,773千円(-7,502千円減)となりました。 営業時は、入場者情報の管理、管理棟内の利用人数の制限と適切な換気、場内の除菌対策を行い、大会開催時は参加定員を制限するなど、コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。お客様に安心して来場していただけるよう職員が一丸となって感染防止対策に取り組み、6月以降の入場者数は前年の水準まで回復しました。 本施設の特性を十分理解し、来場者へのサービス向上及び施設維持管理を行いながら日々変化する情報に臨機応変に対応できたことは、過去からの運営経験を基礎とし、各社の強みが存分に発揮できたからであると感じております。
	施設所管課の評価	新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたにもかかわらず、協定の基準を遵守し、良好に管理され、職員及び利用者の安全も徹底しながら運営されていた。 職員の体制については、天候により配置人数を変更するなど、柔軟に対応していた。 前年度との比較は難しいが、感染防止対策を施した中で、工夫しながらも積極的な自主事業を展開していた。やむなく中止としたイベントもあったが、実施したイベントに関しては盛況ぶりが伺えた。 コロナが落ち着くまで、運営が制約等に左右されることもあるが、通算12年目となる管理・運営のノウハウでマイナスをプラスに変え、日々変化する利用者のニーズに柔軟に対応していただきながら、笑顔あふれるレクリエーション施設として、さらなる公共の福祉の増進と、地域活性化に取り組んでいただきたい。

総合評価	区分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)